

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 16 年 8 月 26 日 (2004.8.26)

【公開番号】特開 2000-325826 (P2000-325826A)

【公開日】平成 12 年 11 月 28 日 (2000.11.28)

【出願番号】特願 平 11-143883

【国際特許分類第 7 版】

B 0 2 C 21/02

B 0 2 C 1/02

B 0 2 C 23/00

【F I】

B 0 2 C 21/02

B 0 2 C 1/02 Z

B 0 2 C 23/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 8 月 15 日 (2003.8.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

破碎機取付け部と脚部とを備えたフレームと、

前記脚部に設けた走行手段と、

前記破碎機取付け部の長手方向 一方側 に設けられ、被破碎物を受け入れるホッパと、

このホッパで受け入れた被破碎物を破碎する破碎装置と、

前記ホッパで受け入れた被破碎物を前記破碎装置に搬送するフィーダと、

前記破碎機取付け部の前記長手方向他方側に設けられ、その前記他方側の端面が、前記破碎機取付け部の前記他方側の端面よりもさらに前記他方側に位置しているパワーユニットフレーム積載部材と、

前記パワーユニットフレーム積載部材の前記他方側の端面よりもさらに前記他方側に位置するように、前記パワーユニットフレーム積載部材の上部に積載されて基礎下部構造をなすパワーユニットフレームを有するパワーユニットと、

前記破碎装置で破碎された破碎物を前記他方側へ搬出するコンベアとを備え、

前記パワーユニットフレーム積載部材及び前記破碎機取付け部のうち少なくとも一方の前記他方側の端面は、側断面で見て下方になるほど欠損する形状となる欠損形状部を備えていることを特徴とする自走式破碎機。

【請求項 2】

請求項 1 記載の自走式破碎機において、

前記欠損形状部は、逆台形状に斜めにカットした形状を備えていることを特徴とする自走式破碎機。

【請求項 3】

請求項 1 記載の自走式破碎機において、

前記コンベアの搬出側部分は、中間部材を介して前記パワーユニットに吊り下げ支持されていることを特徴とする自走式破碎機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

【課題を解決するための手段】

(1) 上記目的を達成するために、本発明は、破砕機取付け部と脚部とを備えたフレームと、前記脚部に設けた走行手段と、前記破砕機取付け部の長手方向 一方側 に設けられ、被破砕物を受け入れるホッパと、このホッパで受け入れた被破砕物を破砕する破砕装置と、前記ホッパで受け入れた被破砕物を前記破砕装置に搬送するフィーダと、前記破砕機取付け部の前記長手方向他方側に設けられ、その前記他方側の端面が、前記破砕機取付け部の前記他方側の端面よりもさらに前記他方側に位置しているパワーユニットフレーム積載部材と、前記パワーユニットフレーム積載部材の前記他方側の端面よりもさらに前記他方側に位置するように、前記パワーユニットフレーム積載部材の上部に積載されて基礎下部構造をなすパワーユニットフレームを有するパワーユニットと、前記破砕装置で破砕された破砕物を前記他方側へ搬出するコンベアとを備え、前記パワーユニットフレーム積載部材及び前記破砕機取付け部のうち少なくとも一方の前記 他方側 の端面は、側断面で見て下方になるほど欠損する形状となる欠損形状部を備えている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

パワーユニットの基礎下部構造をなすパワーユニットフレームは、パワーユニットフレーム積載部材の上部に積載され、さらにこのパワーユニットフレーム積載部材は、破砕機取付け部の長手方向 他方側 (後方側) に設けられ、これによってパワーユニットの自重は、最終的にフレームによって支持される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

このとき、本発明においては、パワーユニットフレーム積載部材の 他方側 (後方側) 端面を、破砕機取付け部の 他方側 (後方側) 端面よりもさらに 他方側 (後方側) に位置させ、パワーユニットフレームの 他方側 (後方側) 端面を、パワーユニットフレーム積載部材の 他方側 (後方側) 端面よりもさらに 他方側 (後方側) に位置させる。これにより、フレーム破砕機取付け部、パワーユニットフレーム積載部材、パワーユニットフレームと、上方の部材になるほど、その端面がより 他方側 に位置する階段状の支持構造となり、パワーユニットの自重はこの階段状構造を介し徐々に破砕機の前方側へと伝達されて最終的にフレーム破砕機取付け部の 他方側 (後方側) 部分で支持される。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

またこのとき、パワーユニットフレーム積載部材及びフレーム破砕機取付け部のうち少なくとも一方の 他方側 (後方側) 端面に、側断面で見て下方になるほど欠損する形状、例えば逆台形状に斜めにカットした形状の欠損形状部を設けることにより、パワーユニットフ

レーム下方に形成される空間においてその欠損した部分に相当する領域だけ自由空間を広げることができるので、メンテナンス時に作業員がコンベアに乗り込むときの作業員乗り込み用の空間を十分に確保することができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

また、図1、図2中左右方向が、破砕機取付け部の長手方向に相当し、図1、図2中左側が破砕機取付け部の長手方向一方側に相当し、図1、図2中右側が破砕機取付け部の長手方向他方側に相当する。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0066

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0066】

【発明の効果】

本発明によれば、パワーユニットフレーム積載部材及びフレーム破砕機取付け部のうち少なくとも一方の他方側端面に、側断面で見て下方になるほど欠損する形状となる欠損形状部を設けるので、パワーユニット支持構造における十分な強度を確保しつつ、メンテナンス時における作業員のコンベアへの乗り込みの便宜を図ることができる。